

## 草津町水道ビジョン策定について

### 新水道ビジョン策定の背景と概要

水道を取り巻く環境の変化に対応するため、厚生労働省では平成16年6月に策定したこれまでの「水道ビジョン」を全面的に見直し、平成25年3月に「新水道ビジョン」を策定し公表しました。

改定の主な背景は、1つ目が人口減少社会の到来、2つ目が東日本大震災の経験の2点であり、水道事業者にはこれらを踏まえた運営基盤の強化が求められています。

「新水道ビジョン」では、これまで国民の生活や経済活動を支えてきた水道の恩恵を、これからも全ての国民が継続的に享受し続けることができるよう、50年後、100年後の将来を見据え、水道の理想像を具現化するため、今後、当面の間に取り組むべき事項及び方策を提示しています。

厚生労働省は、この「新水道ビジョン」の考え方を踏まえた、「水道事業ビジョン」の作成を、該当水道事業者に対し要請しました。

### 草津町水道事業ビジョン策定の趣旨

草津町の水道は、少子高齢化の進行にともなう人口減少により、給水収益の減少が見込まれる一方で、良質で安定した水道を継続するため、老朽化した施設の更新や耐震化に必要な投資費用の増高が予想されることが課題となっています。

この現状と課題に対応するため、前回、平成20年度に策定した草津町水道ビジョン（2009～2018年）を改訂し、「安全」、「強靱」、「持続」の3つの基本的取り組みを基軸とし50年後、100年後の将来を見据えた水道事業の目指すべき姿と、実現するための方向性を示した「草津町水道事業ビジョン」を策定いたしました。

### 計画期間について

50年後、100年後の将来を見据えた水道事業の理想像を明示するものですが、当面の目標を、策定から概ね10年とするため、草津町水道ビジョンも、計画期間を2021～2030年の10年といたしました。

# 草津町 水道事業ビジョン

2021-2030



令和3年3月